



回覧

いらっしゃい! こうみんかん



栃木市藤岡公民館だより 3月号

立春の候、地域の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

早いもので、この公民館だより「いらっしゃい! こうみんかん」も今年度最後、平成の最終号を迎えました。ご愛読ありがとうございました。3月発行の4月号はありませんのでご了承ください。

現在、来年度の公民館講座等の計画作成に取りかかっているところです。皆様に喜んでいただけるような講座等を検討中ですが、皆様のご要望がありましたら、公民館事務局にご一報いただけたら幸いです。

【ハーバリウム講座】

1月31日(木)・2月2日(土)にハーバリウム講座を実施いたしました。

150mlと100mlの角瓶を使って1人2本作成しました。オイルを入れた時をイメージしながら思い思いの作品を作られていました。出来上がった作品は同じ材料を使ったとは思えないほど、個性豊かで可愛い作品が出来て満足されていました。



【文化マイスター】

2月2日(土)・3日(日)に岩舟文化会館及び岩舟公民館を会場に「栃木市文化マイスターのつどい&栃木市文化活動協議会活動交流会」が開催されました。藤岡地域からは、藤岡文団連より吟剣詩舞部「正道流吟詠会本部」、茶華道部「古流松藤会」と「五家英子とみんなで楽しく踊ろう会」「オカリナいちごの夏」の皆さんが参加され、日頃の活動の成果を発表されました。



【地域教育協議会】

2月4日(月)「藤岡アシストネット地域教育協議会」を開催いたしました。この協議会は、「とちぎ未来アシストネット」の藤岡地区内での取り組みで、各学校長、地域コーディネーター(10名)、地域住民の代表(藤岡シティ青少年健全育成推進部会、読み聞かせボランティア、コロポックル、ハードル会)、公民館長で構成されています。

「あなたの力を地域の子どもたちのために」を合言葉に、家庭、学校、地域の連携を図り、地域にある教育力を地域の子どもたちのために生かすとともに、活力あるまちづくりを目指しています。

今回は30年度の事業報告を行うとともに成果と課題を確認しました。

き・ず・な・む・す・ぶ



【見守り巡回活動】

2月10日（日）藤岡中央大通りにおいて、藤岡子どもネットワーク会員及び栃木少年補導員による藤岡初市祭の巡回見守り活動が行われました。

初市は降雪のため順延になりましたが、たくさんの人で賑わっていました。小中学生の姿もたくさん見られ、年に一度の初市を楽しんでいました。



【今後予定の講座をご紹介します】

- 資産運用講座【2月17日（日）】午前10：00～12：00

講師：若森康江先生（アセットマネジメント ONE）

定員：20名

- 親子で洋菓子講座【2月24日（日）】午前10：00～12：00

講師：木村玲子先生（珈琲音-KAHIAN-チーフ）

定員：10組20名

プロが教える手作りパンケーキの作り方と珈琲の淹れ方を学びます。

- フォークソング講座ファイナル【3月6日（水）】午後1：00開場

1：30～3：00（予定）

スタッフ：ふじおかG&Bフォークギターサークル、アイランズ他

定員：400名 フォークソング講座受講生（春夏、秋、冬）

その他どなたでも

会場：栃木市藤岡文化会館ステージ及び客席

※ 青春時代を思い出し、あの素晴らしい愛をもう一度取り戻しましょう



【節分】

そもそも節分とは、季節の分かれ目である、立春・立夏・立秋・立冬の前日のことです。実は2月3日の節分（立春の前日）以外にも年に3回あります。昔から2月の節分は、新しい年を迎える立春の前日として特に重要とされてきました。室町時代くらいからは、立春の前日だけを節分と一般的に呼ぶようになったようです。

新しい年の始まりと聞くと元旦を想像される方も多いかもかもしれませんが、旧暦では、新年は2月4日から始まります。



昔は、季節の変わり目に鬼がやってきて、病気や災害など嫌なことを起こすと考えられていました。鬼に嫌なことを起こされないために、季節の変わり目には、精霊が宿るとされた大豆をまき始めたそうです。豆は魔（ま）を滅（め）するとも読め、鬼が集まってきやすい節分に豆をまいて、無病息災などを願いました。